

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【公開番号】特開2016-27274(P2016-27274A)

【公開日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-23306(P2015-23306)

【国際特許分類】

F 1 6 H 37/02 (2006.01)

F 1 6 H 1/08 (2006.01)

F 1 6 H 1/10 (2006.01)

F 1 6 H 7/02 (2006.01)

F 1 6 H 57/04 (2010.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 H 37/02 C

F 1 6 H 1/08

F 1 6 H 1/10

F 1 6 H 7/02 A

F 1 6 H 57/04 Z

G 0 3 G 21/16 1 7 6

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月10日 (2017.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一つまたは複数の歯車と、複数のプーリに張架された駆動ベルトとを備えた駆動伝達装置において、

歯にグリスを塗布する歯車の少なくともひとつを内歯車としたことを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の駆動伝達装置において、

前記内歯車とする歯車は、歯にグリスを塗布する歯車のうち、前記駆動ベルトのベルト面に対向配置されている歯車であることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の駆動伝達装置において、

前記内歯車とする歯車は、歯にグリスを塗布する歯車のうち、前記駆動ベルトに近接配置されている歯車であることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の駆動伝達装置において、

前記内歯車は、回転軸方向一方が、塞がれており、

前記内歯車の歯を、塞がれた側へスラスト力が働くはず歯としたことを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 いずれかに記載の駆動伝達装置において、前記内歯車の外周面が前記駆動ベルトのベルト面に当接し、前記駆動ベルトにテンションを付与していることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 いずれかに記載の駆動伝達装置において、前記駆動ベルトが V ベルトであることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 いずれかに記載の駆動伝達装置において、前記駆動ベルトがタイミングベルトであることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 いずれかに記載の駆動伝達装置を備えた画像形成装置。